

【地域ヘルスケア産業支援ファンド】 株式会社コミュニティネットに対する出資決定について

株式会社地域経済活性化支援機構（以下「機構」という。）のファンド運営子会社である REVIC キャピタル株式会社（以下「REVIC キャピタル」という。）が、株式会社 AGS コンサルティングと共同で運営する「地域ヘルスケア産業支援ファンド（以下「本ファンド」という。）」は、株式会社コミュニティネット（以下「コミュニティネット」という。）から第三者割当増資を引き受けるとともに、REVIC キャピタルから同社に対して取締役及び監査役を派遣しましたので、お知らせいたします。

コミュニティネットは、1998年設立以来、高齢者向け住宅の開発・運営、まちづくり事業を行ってきました。近年は、2009年開設の適合高齢者専用賃貸住宅（現：サービス付高齢者向け住宅）「ゆいま～る伊川谷」を皮切りに、高齢者が元気なうちに自己実現のできる住まいへと自分の意思で転居し、地域コミュニティとの連携を通じて、子どもから高齢者までの多世代が共に暮らせる「100年コミュニティ」を目指した施設の運営を推進してきました。現在は、入居者それぞれの希望の住まい方に合わせた住宅、「ゆいま～る」、を8施設運営しております。

昨年12月に発表された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で、超高齢社会に突入した我が国における地域活性化と高齢化問題への一つの対策として、「日本版CCRC[※]」の構想が打ち出されました。これは、「健康状態に応じた継続的なケア環境の下で、自立的な社会生活を送ることができるような地域共同体」を構築しようとするものです。本年12月には「『生涯活躍のまち』構想」として進化した報告がとりまとめられています。

同社は、既に、当該構想の先駆的な事例を、「ゆいま～る」の運営によって創出してきましたが、本出資により、今後は、地域ニーズに応じた事業を自社で展開するだけでなく、近時の社会情勢を踏まえ、新たに、フランチャイズ制を導入し、これまでに蓄積してきた地域コミュニティと連動した高齢者向け住宅の開発・運営のノウハウを、理念を同じくする地域事業者等に提供することにより、高齢者が安心して生涯活躍できる地域コミュニティの構築の支援・拡大を目指して行くこととなります。

同社の取組みは、各地の入居希望者のニーズを反映した施設の開発及び運営のほか、各地方自治体、公共施設及び地域住民との連携等もサポートしており、当機構は、本ファンドからの出資並びに REVIC キャピタルからの取締役及び監査役の派遣を通じて、当該取組みの地域展開を支援し、加速させてまいります。

本ファンドは、地域包括ケアシステムの実現などを旨し、今後も地域金融機関等と協力しながら、地域ヘルスケア産業の活性化、雇用創出に資する事業への成長資金の供給を行うことにより、地域経済の活性化を支援してまいります。

※：Continuing Care Retirement Community の略

以上

投資先の概要は以下の通りです。

企業名	株式会社コミュニティネット
設立	1998(平成10)年6月24日
本社所在地	東京都千代田区
代表取締役	高橋 英與
事業内容	高齢者向け住宅の開発・運営等

<お問い合わせ・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表：TEL 03-6266-0310

地域活性化支援部：TEL 03-6266-0590